


林業福島

No. **638**

題字 公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会
会長 齋藤卓夫



 ふくしまから
はじめよう。
Future From Fukushima.

10 2017

監 修 ■ 福島県農林水産部
表紙の写真 ■ 薪 割 り



白砂青松

一般社団法人 福島県造園建設業協会
会長 諸井道雄

六年半前、相双地区の海岸防災林があの東日本大震災の津波で流された状況を目の当たりにした時、どんな言葉をもっても表現できないほどの衝撃を受けました。国道六号を車で走らせると、思いだにしまった光景が広がりました。眼前にはすぐ海が見え、これまで当たり前前に景色を作っていた緑豊かな松林が、如何にふるりの日常風景だったかと思ひ知らされたのが、昨日のことのように思ひだされます。

現在、海岸防災林の造成は、植栽工事も含め活気ができてきました。この海岸防災林には、より強固な防災・減災機能が必要ですが、それに加え、私ども造園業者として専門的な技術・技能でよりやさしく美しい景観づくりを発信していかなければならないと意を新たにしております。また、失われた海岸防災林にはたくさんの人たちが心を寄せ、多くの人たちの手で植栽活動がおこなわれております。これはまさに官民一体となった復興への大きなうねりではないでしょうか。新しい松林が、穏やかな日常の光景になるには長い歳月を要します。今後、私たちには、海岸防災林を機能的にも景観としても、手入れの行き届いた状態で繋いでいく責任と義務があります。

更に、天皇・皇后両陛下をお迎えしての第六九回全国植樹祭、必ず意義ある式典としてオール福島で成功させなければなりません。またこの式典会場栗地区から二〇キロ地点にある浪江町両竹地区と双葉町中野地区の両域にわたり「復興祈念公園」の設置が決定されました。「生命(いのち)をいたみ」「事実をつたえ」「緑(よすが)をつなぎ」「息吹よみがえる」を基本理念とし、東日本大震災で犠牲となった人々とともに、このふる里で、暮らしを共にした動物たちの失われた命をも深く追悼する鎮魂の場であり、震災の記憶と教訓を継承するアーカイブ拠点施設、避難をされていても地域の歴史や民俗芸能で縁(よすが)をつないでいく。そして原発事故の影響を受けたこの場所で、新しい公園の周辺から、人々の力強い息吹きに満ちた町がよみがえることを織り込んでいます。

浜通りもこのように海岸防災林の進捗、第六九回全国植樹祭の開催、復興祈念公園の整備等、緑によっていよいよ心の復興の音が響いてきたようです。白砂青松の美しい風景が目に見えられます。

《も く じ》

とびら	「夏休み親子キノコのふしぎ体験ツアー」… 6
「白砂青松」	平成30年度福島県予算編成に対する要望聴取会 … 7
一般社団法人 福島県造園建設業協会	普及指導員通信…………… 8
会長 諸井 道雄…………… 1	◆ 森林とのふれあいの推進について…………… 9
第69回全国植樹祭の参加者募集！…………… 2	木連だより…………… 10
福島県における森林再生の現状と取組について	「自然に親しむ」…………… 11
…………… 3～4	木材市況・ふくしま東西南北…………… 12
会津地域の林業の新たな取組について… 5	はなしのひろば・お知らせコーナー…………… 13



第69回全国植樹祭の参加者募集!

第69回全国植樹祭福島県実行委員会事務局
(福島県農林水産部全国植樹祭推進室内)

平成三十年六月十日(日)に開催する第69回全国植樹祭の参加者を募集しています。

参加者の皆さんには、南相馬市で開催される全国植樹祭の式典行事や記念植樹に参加していただきます。式典行事では、天皇后陛下によるお手植え・お手播きや、福島復興・再生をテーマとしたアトラクションなどが行われます。また、記念植樹では、東日本震災による津波で大きな被害を受けた海岸防災林を再生するため、クロマツやコナラなどを植樹します。

応募方法は、ホームページからの電子申請か、応募用紙の郵送又は持参での申込となります。申込受付期間は、平成二十九十月二日(月)～十一月三十日(木)です。

応募資格は、福島県内在住で、平成三十年四月一日現在で満十八歳以上の方が対象となります。満六歳以上十八歳未満の方の参加には、保護者の承諾が必要です。

募集人数は約千五百人で、応募者多数の場合は抽選となります。

なお、当選した方には平成三十年一月頃から結果を通知し、併せて参加の意思確認を再度行います。この確認に応じていただけない場合は、当選を無効としますので、あらかじめご

了承ください。

その他応募に関する詳細は、第69回全国植樹祭のホームページで公開している応募ガイドをご覧ください。
たくさんの方の応募をお待ちしております。

植樹祭の新しいポスターが完成しました。



全国植樹祭の開催日が平成三十年六月十日(日)に決定したことから、新しいポスターを作成しました。背景が空色となり爽やかな雰囲気となった新ポスターは、県内の主要駅等で掲示します。

福島県における森林再生の現状と取組について

福島県森林計画課
福島県森林整備課

1 はじめに

福島県の森林面積は、九七五千畝と県土面積の約七割を占め、全国四番目の広さを誇っており、豊富な森林資源に恵まれています。しかし、平成二三年三月に発生した東京電力福島第一原子力発電所の事故により、森林を含む県土全体が放射性物質の影響を受けました。本県では、多くの人々が森林とともに暮らし、林業を生業とする生活を営んできており、森林・林業の再生は、本県の復興にとって大変重要なものであります。

そのような中、本県では平成二三年度から「ふくしま森林再生事業」を実施するとともに、県民生活における安全・安心の確保、森林・林業の再生に向けて、県民の理解を得ながら、関係省庁が連携して、「里山再生モデル事業」により森林の再生に取り組んでいます。

2 森林における放射性物質の現状

本県では、平成二三年度より継続的に森林内の空間線量率モニタリングを行っており、三六二箇所のデータについて平成二三年度と平成二八

年度を比較したところ、森林の空間線量率は、約七〇％低減しています。

また、森林内の放射性物質は、時間の経過とともに、樹木の枝葉や幹などの地上部から林床の落葉層、土壌表層へ約九割が移動していることが、国や県の調査から明らかになってきています。

(詳しくは、福島県のホームページ森林計画課 新着情報「平成二八年度森林におけるモニタリング調査結果」(平成二九年五月十二日)をご覧ください。)

3 里山再生モデル事業

(1) 背景

平成二八年三月九日、「福島」の森林・林業再生のための関係省庁プロジェクトチーム」の第二回会合において、「福島

■ 福島の森林・林業の再生に向けた総合的な取組(概要)

福島の県民生活における安全・安心の確保、森林・林業の再生に向けて、県民の理解を得ながら、関係省庁が連携して、以下の取組を総合的に進めていく。

- I. 森林・林業の再生に向けた取組
 1. 生活環境の安全・安心の確保に向けた取組
 - ・住居等近隣の森林の着実な除染
 - ・必要に応じ林縁から20m以遠の除染や土壌流出防止柵の設置
 2. 住居周辺の里山の再生に向けた取組
 - ・里山等の森林について、地元の要望を踏まえて適切に除染
 - ・広葉樹林や竹林等における林業の再生等の取組
 - ・モデル地区を選定し、「里山再生モデル事業」を実施
 3. 奥山等の林業の再生に向けた取組
 - ・森林整備と放射性物質対策の一体的な実施や実証事業などを推進
 - ・放射線安全・安心対策のガイドブックを作成
- II. 調査研究等の将来に向けた取組の実施
 - ・放射線量低減の調査研究など、森林・林業の再生のための努力を継続
- III. 情報発信とコミュニケーション
 - ・地元自治体や住民に対し、丁寧な情報発信
 - ・専門家の派遣など、コミュニケーションにより、安全・安心を確保

の森林・林業の再生に向けた総合的な取組」が公表され、住居等近隣の森林の着実な除染や日常的に人が立ち入る森林の適切な除染、間伐等の森林整備と放射性物質対策を一体的に実施する事業を推進することなどが示されました。

この中で、モデル地区を設定し、里山再生のための取組を総合的に推進する「里山再生モデル事業」に関係省庁が連携して取り組むこととされました。

(2) 実施状況

関係省庁、県、市町村が調整を行い、市町村の意向を踏まえ、平成二八年九月六日に、川俣町、広野町、川内村、葛尾村、平成二八年十二月二二日に相馬市、二本松市、伊達市、富岡町、浪江町、飯館村において、これまでに十市町村において実施地区が選定されています。

現在、対策の効果把握のため県が事業主体となり、事前の空間線量や土壌濃度等を測定しています。

里山再生モデル事業 イメージ

地域の要望を踏まえ選定したモデル地区において、里山再生を進めるための取組を総合的に推進し、その成果を、的確な対策の実施に反映。



4 ふくしま森林再生事業について

(1) 事業の目的

県内の森林整備面積は、震災前には年間約一二、〇〇〇鈔で推移してきましたが、震災後は、平成二二年度に比べ、平成二三～平成二五年度は約五〇鈔まで落ち込み、森林整備が停滞しました。

森林整備が停滞すると、荒廃した森林が増えることが懸念され、水源かん養機能や土砂災害を防止する機能等、森林が有する多面的機能が十分に発揮されず、災害が発生しやすくなるなど、私たちの生活にさまざまな影響が及ぶことが心配されます。

このため、県や市町村等の公的主体が、放射性物質対策と森林整備を一体的に行い、森林の有する多面的機能の維持を図る「ふくしま森林再生事業」を平成二五年度より実施しています。



生事業」を平成二五年度より実施しています。

(2) 事業の概要

当該事業は、汚染状況重点調査地域^{※1}に指定されている四〇市町村(指定されていた市町村を含む)及び除染特別地域のうち帰還困難区域及び居住制限区域を除く区域において、事前調査や表土流出防止柵等の設置による放射性物質対策と間伐等の森林整備及び森林作業道の開設等の路網整備を一体的に行うものです。

※1 放射性物質汚染対処特措法に基づき指定されている地域

◆事業内容と補助率

1. 放射性物質対策

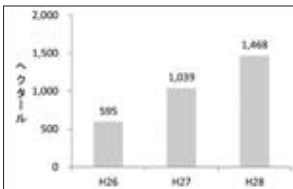
事前調査等、表土流出防止策等の設置など

2. 森林整備等 間伐、更新伐、植栽、森林作業道の開設等

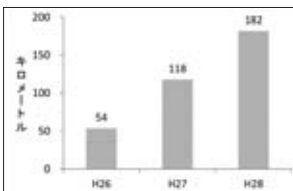
補助率・七二鈔(補助残額には震災復興特別交付税措置有り)

(3) 事業の取組状況

平成二五年度は、県及び公益社団法人ふくしま緑の森づくり公社が二六市町村で森林整備を実施しました。市町村においては、事業を開始した平成二五年度は十九市町村の取組でしたが、平成二九年度には、汚染状況重点調査地域四〇市町村のうち森林を有する三九市町村全てで、さらに避難指示が解除となった区域の二村が加わり、合計四一市町村で事業に取り組んでいます。



森林整備面積



森林作業道延長

また、当事業開始からこれまでに、森林整備は約三、一〇〇鈔、森林作業道整備は約三、五〇〇キロメートルを実施しており、毎年森林整備等の実績があがってきたところです。

平成二九年度は、繰越事業も含めて森林整備三、六〇〇鈔及び森林作業道三〇〇キロメートルの整備に取り組む計画です。

5 おわりに

ふくしま森林再生事業や森林環境税を活用した森林整備などを進めてきたところ、平成二六年度から徐々に森林整備の実績は前年度を上回ってきましたが、震災前の水準には回復していない状況です。

こうした中、ふくしま森林再生事業において、平成二九年度から、森林整備に必要な森林作業道の先行実施期間が二年から四年へ延長され、また、避難指示が解除された区域での取組が可能となり、森林整備の推進に弾みがつきました。

放射性物質の影響を受けた本県の森林及び林業・木材産業を再生させるためには、長い期間を要しますが、里山再生モデル事業の取組とともに、国や関係する市町村、林業事業者、木材産業等の川上から川下に向けた関係者と密接に連携を深めながら、森林再生の加速化に努めてまいりますので、今後とも関係各位のご支援、ご協力をお願いいたします。



木柵による表土流出防止対策



森林作業道整備

会津地域の林業の 新たな取組について

会津地域森林資源活用事業推進協議会長（喜多方市長） 山口 信也

会津地域森林資源活用事業推進協議会は、福島県会津地方振興局管内の十三市町村と商工団体や企業などの四七団体で構成し、会津地域の森林資源を活用した循環型社会の構築と新たな産業の創出、さらには雇用の拡大を図ることを目的に、官民一体の組織として今年五月十七日に設立しました。

十三市町村の人口は約二五万人ですが、鶴ヶ城や白虎隊、磐梯山周辺、喜多方ラーメン、柳津虚空蔵尊などに代表される観光資源に恵まれ、昨年度の観光人口は約一、六〇〇万人と、ようやく原発事故前の水準に回復しつつあります。

しかし、少子高齢化や若年層の流出等による人口減少が続いており、地域を活性化させ人口減少に歯止めをかけることが地域全体の課題となっています。

一方、森林面積は国有林、民有林



「会津地域13市町村」
会津若松市、喜多方市、北塩原村、西会津町、磐梯町、猪苗代町、会津坂下町、湯川村、柳津町、三島町、金山町、昭和村、会津美里町

合わせて二二八、六一一畝と県の森林面積の約四分の一を占めるなど森林資源は豊富ですが、十分に活用されていないことから、この森林資源を活用し活力ある会津地域を創造するため、昨年度十三市町村合同で総務省委託事業の『分散型エネルギー

インフラプロジェクト・マスタープラン策定事業』に取り組み、森林資源を活用した『木質バイオマスエネルギー』を核に森林資源を永続的に循環する仕組みを構築することで、林業の振興と活力ある地域づくりを目的としたマスタープランを策定しました。

このマスタープランでは、事業運営へ市町村は参画せず支援に徹し、民間活力が中心となつて、会津地域を盛り上げる内容のものです。

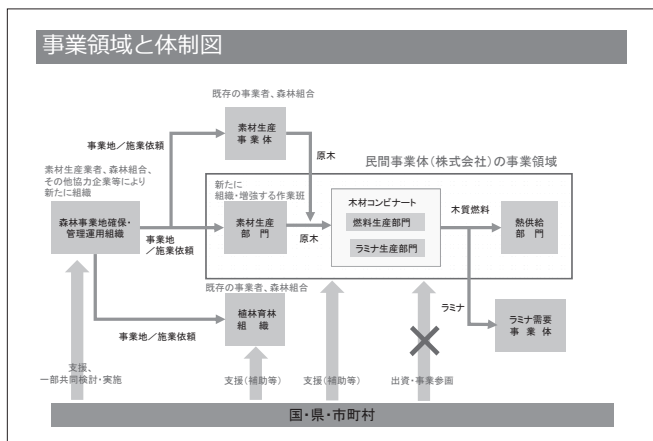
このマスタープランを実現させるためにも、『正確な森林資源の把握』が必要なことから、今年度は十三市町村で足並みを揃え、環境省所管事業「木質バイオマス資源の持続的活用による再生可能エネルギー導入計画策定事業」に取組み、航空写真の判読や一部実測を行うなど森林資源の賦存量調査と、公共施設や温泉旅館等を対象にした熱需要量の調査、並びに木質バイオマスエネルギー事業の採算性の検討と設備導入検討を行い、森林資源を活用した循環型社会の構築と

再生可能エネルギー導入計画策定事業」に取組み、航空写真の判読や一部実測を行うなど森林資源の賦存量調査と、公共施設や温泉旅館等を対象にした熱需要量の調査、並びに木質バイオマスエネルギー事業の採算性の検討と設備導入検討を行い、森林資源を活用した循環型社会の構築と

再生可能エネルギーの推進に向けた計画を策定します。

なお、森林資源の活用について、現在、山林の境界の不明確化や所有者の不在村化等の問題も山積しておりますが、伐る・使う・植える・育てるの『森の循環』がスムーズに行えるようなルールづくりを協議会で検討していきたいと考えております。

今後も森林資源を活用した循環型社会の構築に向け、協議会一丸となつて取り組んでまいりますので、皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



「夏休み親子キノコのふしぎ体験ツアー」

(公社) 福島県森林・林業・緑化協会
きのこ振興センター

当きのこ振興センターは、県内きのこ生産者への支援や消費拡大PR活動など本県のきのこ生産振興のため各種事業に取り組んでいます。この

あり、ついつい採りすぎてしまったようでした。普段でできない体験であるため、参加した皆さんからは、笑顔が溢れていました。

○ナメコ栽培施設見学とナメコの収穫・きのこのピザ作り

ような中で昨年度から、きのこに関する食育推進のための事業の一つとして「夏休み親子きのこ体験ツアー」を実施しています。開催の目的は、親子で楽しみながらきのこについて学び、きのこの収穫や料理等の体験を通して食材としてのきのこの魅力を感じ、きのこへの理解を深めていただくことです。今年度は八月五日(土曜日)に体験ツアーを行い、県内の親子十四名が参加しました。

次に、二本松市の「東和季の子工房」を訪れ、ナメコ栽培についての説明を聞いた後、一面のナメコにびっくりする施設の中で生産者の方の指導を受けながらナメコの収穫体験を行いました。

○シイタケ栽培施設見学とシイタケの収穫

本宮市の「渡辺きのこ園」を訪れ、シイタケ栽培について、培養中の菌床を見ながら説明を聞いた後、施設を見学させていただきました。参加した人達は、これまで知らなかったシイタケの栽培方法などの話を熱心に聞き入っていました。

シイタケの収穫も体験してもらいましたが、量販店では見られないような立派なシイタケであったことも

採ったきのこは、早速隣接する農家レストランに持ち込んで、全員でピザ作りを行いました。ピザ生地を円盤状に伸ばして味噌仕立てのソースにナメコ、大葉、チーズをのせ焼き上げました。出来栄は上々で、ピザと共に記念撮影を行っている参加者もいました。

ピザ生地にナメコを山盛り乗せたため、仕上がりはナメコがかなり縮んで丁度いい感じになっていた。驚いていました。ピザの他にもナメコの天ぷらや地元野菜をふんだんに使った前菜、スープなどを皆さん口々に美味しいと言って嬉しそうに食べていました。



ナメコのピザ作り



シイタケの収穫



きのこの展示室を見学



みんなで昼食

最後に郡山市の逢瀬公園に移動し、当職員の案内で、公園内に発生しているきのこの種類や夏場に発生するきのこの話をしながら、散策しました。

また、公園事務所内にある「森と勝氏の説明のもと、展示室内を見学しました。食用きのここと毒きのこの見分け方や珍しいきのこの話など、参加した皆さんは興味深く聞き入っていました。また、広井氏案内のもと、発生しているタマガタケを発見した際は、歓声があがっていました。

○家庭でのきのこ作り

きのこに興味を持ってもらうためには、自分で栽培してみる



自由民主党福島県議会議員会

福島県林業会議は、森林の有する多面的機能の発揮と林業の持続的かつ健全な発展に寄与することを目的に設立し、林業関係一〇団体で構成しています。

九月十一日、平成三〇年度福島県

平成三〇年度 福島県予算編成に対する要望聴取会

福島県林業会議

予算編成に対する福島県議会各会派による要望聴取会が開催され、当会議では、「森林・林業の再生なくして福島県の復興はない。」との強い思いから、復興の加速化を図り、森林を将来の世代に健全な姿で引き継いでいけるよう、別表に掲げる一〇項目を要望しました。

福島県議会各会派からは、「要望事項はしっかりと受け止めた。実現できるような努力する。」と力強い回答をいただきました。

【平成30年度福島県予算編成に対する要望事項】

1	第69回全国植樹祭及び第47回全国林業後継者大会の推進と成果継承	
	・緑の少年団、森林づくり活動団体、企業等の緑化活動への支援を強化 ・全国植樹祭式典会場はシンボル公園等として整備	など
2	森林除染の推進及び避難指示区域等の森林管理の具体的取組の着手	
	・里山再生モデル事業の促進とその成果の県内全域への拡大 ・避難指示区域等における森林管理及び木材供給の具体的取組に着手	など
3	林業担い手の確保・育成	
	・林業大学校等の開設に向けた取組の推進 ・林業就業者の確保・育成、林業事業者等が行う雇用改善等の取組への支援	など
4	森林整備の促進	
	・ふくしま森林再生事業の継続と中・長期的な予算の確保 ・造林・育林への積極的な取組、優良な苗木の安定供給への支援 ・広葉樹の再生や桐等特用樹の振興	など
5	県産材の安定供給体制の確立	
	・主伐・再造林の推進による素材生産量の増大を支援 ・高性能林業機械の導入支援や林道等の整備促進	など
6	県産材の利用促進	
	・林業経営者等が行うSGEC等森林認証の取得支援と普及拡大 ・木育や県内外のPR活動の一層の推進	など
7	公共建築物等の木造・木質化の推進	
	・各部局連携による県施設の木造・木質化の推進や公共土木事業での利用拡大 ・県内企業が取り組んでいる各種建築工法等の普及定着の支援	など
8	きのこ類の生産振興	
	・FGAPの取得支援など安全・安心なきのこ生産の取組を支援 ・県オリジナル品種の生産技術の普及定着など生産振興と産地化を推進	など
9	海岸防災林の再生	
	・事業発注の平準化、年間発注計画の公表など円滑な事業実施に向けた支援 ・長期的視点での予算の確保と地域住民や森林づくり活動団体等の参画を支援	
10	治山施設の整備	
	・山地災害危険地区に対する効果的な防災・減災対策の推進 ・小規模な山地災害等箇所での早急な復旧を推進	など



福島県議会 民進党・県民連合議員会



日本共産党福島県議会議員団



公明党福島県議会議員団

南会津におけるきのこの緊急時環境放射線 モニタリング検査の実施状況について

福島県南会津農林事務所
林業普及指導員 常松美帆

広葉樹が多く、身近な裏山や遊歩道などにも数多くのきのこが自然発生する当南会津管内では、今年の秋は、比較的早い時期から野生きのこの発生が見られています。

南会津管内のうち、南会津町と檜枝岐村については、モニタリング検査で安全が確認された野生きのこについて出荷が可能なことから、既に様々な野生きのこがモニタリング検査のために事務所に持ち込まれてきています。

震災以降、野生きのこの出荷については、モニタリング検査により安全を確認してから出荷を行うよう指導を行っていることから、当初は、検査の必要性について疑問の声や、出荷を自粛する生産者もあり、様々な反応がありました。検査を継続することで「やはりこのきのこは安心・安全である。」と自信を持って出荷できるとの考えが普及したことで、計画的な検体の提供をいただけるようになりました。

現在、出荷制限となっている、下郷町と只見町においても、自治体や森林組合、地域住民の協力を得ながら、出荷制限解除のための検査を継続しています。

近年の野生きのこ（出荷目的）のモニタリング検査状況（件数）

町村名	H27	H28	H29（H29.9.15まで）
南会津町	35	30	25
檜枝岐村	6	9	—

栽培きのこについても野生きのこと同様、例年より早めの発生が見られています。

安全な生産資材の流通に対する支援の一環として、平成28年度に「南会津広葉樹利用生産組合」に対し「非破壊検査機器」2台を設置しました。同組合では、機械が導入された昨年度より、きのこ用原木の非破壊検査を実施しており、線量の高い原木の混入やほだ木の流通などを未然に防ぐための対策が進められています。

きのこ生産者への支援とあわせ、消費者に対しても「安心・安全」のためのPRを行っています。PRでは、きのこへの不安や誤解が生じることがないように、モニタリング検査の状況や検査方法などを丁寧にお伝えし、理解を得ています。

当事務所では、管内きのこ生産量と流通量の回復を目指して、今後も普及指導を継続していく考えです。



消費者風評対策支援事業（下郷町安全食材「まるごと食べてみっせ」）での栽培きのこの検査状況についての説明

森林管理署メロ

森林とのふれあいの 推進について



国有林では、国民の皆さんが森林の中で自然と「親しみ、遊び、学ぶ」喜びを味わうことができるよう、森林とのふれあいを推進しています。

こうした中、会津森林管理署においては、小学校等の教育機関からの依頼を受けた森林教室や林業体験、主催者からの要請に応えた各種イベントでの木工工作教室等、年六回程度、森林とふれあい、森林に対する理解を深めていただく取り組みを行っています。

その中で、県立高等学校初任者研修の一環として福島県教育庁から依頼を受けて五月に実施した体験研修についてご紹介します。

この研修は、会津地域の高校に当年度採用された教職員を対象に、国

有林内での林業体験、森林環境観察を行っていただき、その後の生徒への教育に活かしていこうという取り組みで、本年度で七回目となりました。

本年度は、十三名の新任の教職員の皆さんに参加いただき、保育間伐の林業体験では、一人一人が手鋸で実際に伐倒を行いました。

研修生の多くは、手鋸を使うのも初めてであり、四苦八苦しながら汗びっしょりで作業をしていただきました。

伐倒作業の実体験で、森林づくりの大変さや安全第一の大変さを学んでいただけたことと思います。

森林環境観察では、都市近郊林を散策しながら、植物の特性、森林の

遷移等について学んでいただきました。

研修の最後に、研修生からいただいた感想の中で印象に残った言葉があります。

それは、「森林づくりも教育も同じ」というものです。

「木々には、それぞれ性質があり、

性質に合わせた育て方が必要である。また、手間をかければかけるほど、大きく育つ。これは、生徒を教育していくことと同じである。」というものです。

一日だけの時間に限りのある研修でしたが、

これから教育の場でご活躍される方々に、国有林での研修が、

少しでもお役に立てたことは、

大きな幸でした。

当署では、今後もこのような森林とのふれあいを通じ、国民の皆様が森林への理解を深めていただく取組を進めていくこととしていますので、国有林野のフィールド提供等を希望される方は、ご相談願います。



伐倒作業の指導を受ける研修生



製材JAS制度と認定工場

「農林物資の規格化等に関する法律（JAS法）」に基づく製材の日本農林規格は、平成十九年に複数の製材関係のJAS規格が一つの規格に統合されるなどの見直し改訂され現在に至っています。

JAS製材品は、品質・規格の保証された製品で良質な木造住宅の建築に欠かせない資材であることから、林野庁においても最近特にその普及に力を入れてきております。

そこで、食品等のJAS製品同様に製材品のJAS制度を理解していただき、積極的な使用をお願いします。

1. 製材JAS規格品目区分

(1) 構造用製材：建築物の構造耐力上主要な部分に使用する針葉樹の製材

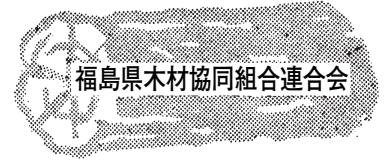
① 目視等級区分構造用製材

甲種（主として高い曲げ性能を必要とする梁や桁等）

乙種（主として圧縮性能を必要とする柱や床束等）

② 機械等級区分構造用製材

造作用製材：敷居、鴨居、壁その他の建築物の造作に使用する針葉



樹製材

(3) 下地用製材：屋根、床、壁等の下に使用する針葉樹製材

(4) 広葉樹製材：製材のうち広葉樹を材料とするもの

(5) 枠組壁工法構造用製材：枠組壁工法建築物の構造耐力上、構造部材として使用する針葉樹製材

2. 全国のJAS認定工場及び格付け実績（平成二八年度）

全国における認定品目ごとの認定工場数及び格付け数量を次表に示しました。

認定品目	全 国		福島県		
	製材工場数	m ³	製材工場数	m ³	
グリーン	構造用製材	247	106,944	21	32,919
	造作用製材	93	4,386	7	167
	下地用製材	93	21,631	9	462
	広葉樹製材	3	4	1	0
	計	436	132,965	38	33,548
人工乾燥	目視等級区分構造用製材	208	89,693	6	777
	機械等級区分構造用製材	71	613,033	2	12,557
	造作用製材	54	5,433	2	56
	下地用製材	39	21,571	1	6
	枠組壁工法	68	96,942	1	9,519
計	440	826,672	12	22,915	

3. 福島県のJAS認定工場

認定番号	認定工場名	住 所	認定に係る農林物資の種類							
			構造用	造作用	下地用	広葉樹	人工乾燥		機械等級	
JLIRA-			構造用	造作用	下地用	広葉樹	2×4	等級		
1	B-15-01・31	協和木材(株)	東白川郡瑞町大字西河内字鶴巻田10	○					○	○
2	B-15-03	(株)イリタニ	河沼郡会津坂下町字中岩田173	○	○	○				
3	B-15-04	滝口木材(株)	いわき市泉町滝尻字亀石町2-28	○						
4	B-15-05	株ワタザイ制作センターコア	郡山市熱海町安子ヶ島字一の谷10-3		○	○				
5	B-15-06	(有)草野林業	いわき市好間町小谷作字小谷作29	○						
6	B-15-07	(有)松岡材木店	郡山市田村町田母神字宮ノ前67	○	○	○				
7	B-15-08	共力(株)	いわき市小名浜字芳浜11-68	○						
8	B-15-09	関場建設株木材木工事業部	南相馬市原町区深野字入龍田117-2	○						
9	B-15-10	千葉製材所	南相馬市原町区牛来字穴田42-1	○	○					
10	B-15-11・28	磐城共栄木材(資)	いわき市渡辺町泉田字長者平39-2	○			○			
11	B-15-13	(株)荒川材木店	いわき市勿来町酒井北境1	○						
12	B-15-14・33	(有)いわき材加工センター	いわき市勿来町窪田道作33				○	○	○	○
13	B-15-15	福島県郡山地区木材製材(有)	郡山市田村町金沢字大六149-10	○		○				
14	B-15-16	(株)成田木材建設	会津若松市柳原町3丁目1-1	○	○	○	○			
15	B-15-17	和田木材(有)	いわき市小名浜大原字丁新地30	○						
16	B-15-18	ヤマニ建設(株)	二本松市南町225	○	○	○				
17	B-15-20	滝澤木材(有)	会津若松市門田町大字一の堰字村東297	○		○				
18	B-15-21	(有)タカモク	耶麻郡猪苗代町大字川桁字長町3530	○		○				
19	B-15-22	(有)国分木材店	耶麻郡猪苗代町大字蚕養字下日陰乙674-1	○	○	○				
20	B-15-24	(株)押田製材所	東白川郡矢祭町大字東館字桃木町15	○						
21	B-15-27	(株)大栄木材	東白川郡瑞町大字瑞字大町3丁目16				○			
22	B-15-29	(有)古殿製材所	石川郡古殿町松川和久46	○						
23	B-15-30	(株)ツネマツ	岩瀬郡天栄村大字白字家内神26				○	○		
24	B-15-34	(株)松栄商事	東白川郡瑞町大字伊香字中妻43-1	○						

4. 全木検のホームページにおける製材JAS認定工場の紹介

全国の製材JAS認定工場は、全木検のホームページから閲覧することができます。

① ホームページの開き方

「全木検」から検索
[https://www.jlira.jp]か

製材JAS制度↓認定工場一覧
↓製材等JAS認定工場の順
にクリックします。

② 認定工場名簿、又はJAS製材品紹介の見方

左上の「認定工場名簿」又は「製材品紹介」のどちらかの丸印を選択します。

③ 区分別、県別、樹種別の見方

左上の「区分」、「県」、「樹種」を選択してください。

例…全区分、福島県、スギを選択。

「自然に親しむ」

福島県の巨樹・名木 | 31 |

二軒在家の大クリ

樹木医 鈴木俊行

「二軒在家の大クリ」は、喜多方市岩月町宮津字惣社原地内に生育している。生育地は国道二二二号と主要地方道喜多方西会津線の交差点を旧国道二二一号、通称米沢街道を約二キロメートル入った通称二軒在家集落と水田とに囲まれた畑に生育している。地形はほぼ平坦地で、周辺には農業用ビニールハウス、温泉施設、野菜畑、水田、倉庫や住宅に囲まれた場所、日照条件を含めた生育環境は良好で、根系伸長域も広く保護されている。



本樹の名称の「二軒在家」は、周

辺の住民が生育地集落を呼ぶ通称で、地域住民は「二軒在家の大クリ」と呼んで親しんでいる。また、本樹にまつわる言い伝え等としては、「御先祖が京都御所から苗木をもらって来て植えたもの」と所有者の家に伝わっているが、いつ頃なのか京都御所との関わりなど定かではない。

クリ (*Castanea crenata*) は、ブナ科クリ属の落葉高木で、北海道西南部から本州、四国、九州、朝鮮半島南部が原産である。ただし、現在では広く栽培されているため、自然分布との境目がわかりにくく、中国や台湾でも栽培されている。各栽培品種の原種で山野に自生するものは、シバグリ(柴栗)またはヤマグリ(山栗)と呼ばれる。クリの栽培品種は約二〇〇種類以上あり、シバグリが改良されたものが主であるが、海外産のクリ類と交雑されたものもある。栽培品種は収穫期により早生、中生、晩生に大別され、代表

的な品種の早生栗は丹沢(たんざわ)、国見(くにみ)、中生栗は筑波(つくば)、銀寄(ぎんよせ)、晩生栗は石鎚(いしづち)、岸根(がんね)などがある。

日本のクリは縄文時代人の主食で、青森県の三内丸山遺跡から出土したクリの実のDNA分析から、縄文時代にはすでに栽培されていたことが明らかになっており、人間と深く関わっていたことがわかる。材木としては、堅くて腐りにくいので、建物の柱や土台、鉄道線の枕木、家具等の指物に使われていたが、近年資源量の不足から入手しづらくなった。また、成長が早く良く燃えるので昔は薪木としても使われていた。縄文時代の建築材や燃料材は大半がクリであることが、遺跡の出土



品からわかっている。

本樹の形状寸法は、樹高二・三〇メートル、幹周五・九五メートル、根元周七・三五メートルで、幹は地上約二メートルから四方に分岐させ大きな樹冠を形成している。また、主幹樹皮は幾筋もの凹凸が縦縞となり、振れるように主幹へとつながる奇観で美しく、威厳さえ感じる。推定樹齢二七〇年の巨木で、平成二八年四月二六日、県の天然記念物に指定されている。枝張りは一〇・三〇メートル、西一〇・四〇メートル、南八・七〇メートル、北一〇・八〇メートルと均整のとれた大きな笠状の樹形が美しい。

県内でも屈指のクリの巨木に会いに出かけてはいかがだろうか。きっと圧倒されパワーをもらえるにちがいない。



木材市況

素材の価格〈工場着価格〉(7月15日現在)

(単位: m当り千円)

区分	形量		材質	樹種	中通り地方		会津地方		浜通り地方		県平均		
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	
一般用材	小	5~9	4.00	並	スギ	9 (8~10)	0	(0~0)		9 (8~9)	0	9 (8~10)	0
		10~14				11 (10~12)	0	11 (11~11)	△1	11 (11~11)	0	11 (10~12)	0
	中	14~22	3.00	並	スギ	11 (11~12)	0	(0~0)		10 (9~12)	0	11 (9~12)	0
					ヒノキ	18 (13~24)	0	(0~0)		15 (15~15)	1	16 (13~24)	0
			6.00	並	スギ	16 (15~17)	0	11 (10~12)	0	16 (15~16)	1	14 (10~17)	0
		並		ヒノキ	29 (24~34)	0	(0~0)		21 (18~24)	0	25 (18~34)	0	
		20~28		3.65	並	スギ	11 (10~12)	0	10 (10~11)	0	11 (11~12)	0	11 (10~12)
			4.00	並	11 (10~12)		0	11 (11~11)	0	12 (11~12)	1	11 (10~12)	0
	4.00		並	アカマツ	9 (7~11)	0	(0~0)		9 (9~9)	0	9 (7~11)	0	
	28以下	1.80	並	アカマツ	8 (5~10)	0	(0~0)		7 (6~7)	0	7 (5~10)	0	
					並	米ツガ	(0~0)	(0~0)		28 (28~28)	0	28 (28~28)	0
		30以上	10.00	並	米マツ	(0~0)		30 (30~30)	△2	29 (28~29)	0	29 (28~30)	△1
並					エゾマツ	(0~0)	(0~0)		28 (27~28)	0	28 (27~28)	0	
パルプ用材		並	マツ	6 (6~6)	0	(0~0)		5 (5~5)	0	6 (5~6)	0		
			並	広葉樹	9 (9~9)	0	(0~0)		6 (6~6)	0	8 (6~9)	0	

六月の原木市場への入荷状況は、前月比二〇割増(前年比九割増)の二四、八四五立方メートルとなっている。
販売量は、前月比一五割増(前年比変わらず)の二四、七二五立方メートルとなっている。
七月の価格は保合いとなっている。

区分	形量		材質	樹種	会津共販		いわき	
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差
一般用材	12以下	4.00	並	カラマツ	7 (6~8)		7 (6~9)	0
	13~14		並	カラマツ	9 (8~9)		8 (7~8)	0
	16以上		並	カラマツ	13 (13~13)	0	10 (9~11)	0

- 注) 1. 前月差の△印は値下りを示す。
2. ()内は各地域の価格幅、()外は各地域の平均価格を示す。
3. 一般用材カラマツは工場着価格ではなく、福島県森林組合連合会の会津共販・いわき木材流通センターの素材市売価格を示す。
4. 各地域の価格について、異常値が生じた場合には県平均算出から除く場合がある。



ジオサイトで学ぶ 磐梯山ジオパーク

県北農林事務所 小 椋 佳

近年、火山や地形、豊かな動植物等を学ぶ場所としてジオパークという考え方が注目されており、福島県には磐梯山を中心としたジオパークがあります。私は県北農林事務所の配属ですが、週末は会津地方で過ごすことが多いこともあり、今回は地元の北塩原村にある二つのジオサイト、雄国沼、猫魔ヶ岳を紹介いたします。

※ジオサイト・ジオパークを特色づける見学場所や拠点

雄国沼は標高一〇八九メートルに位置しており、周辺を山々に囲まれた地形をしています。これはカルデラ地形(火山活動でできた凹地)と呼ばれるもので、二つの時期(一〇〇万年前〜七〇万年前と五〇万年前〜四〇万年前)の猫魔火山の活動により形成されたそうです。また、雄国沼湿原植物群落として国の天然記念物に指定されており、六月にはレンゲツツジ、七月にはニッコウキスゲの大群落を楽しむことができます。この

原稿が掲載される頃には、周辺の山々の紅葉と湿原の草紅葉が楽しめる頃ではないでしょうか。

【猫魔ヶ岳】

猫魔ヶ岳は先ほど述べた猫魔火山の活動のうち、五〇万年前〜四〇万年前の活動によって形成されました。猫魔ヶ岳山頂からは、南側に猪苗代湖、東側に磐梯山、北側に松原湖を望むことができます。磐梯山は五万年前と一八八八年に二度の山体崩壊を起こしたといわれており、その時に川がせき止められて誕生したのが猪苗代湖と松原湖です。裏磐梯の松原湖をはじめとする大小三〇〇もの湖沼群はたった一三〇年ほどの歴史しかないというのは驚きです。その土地を特徴付ける地形のルーツを学ぶのはおもしろいものです。これからは県北地方でも地形のルーツを学べるスポットをみつきたいと思っております。



猫魔ヶ岳山頂から望む磐梯山

表紙の写真



「薪割り」

第13回ふくしま森林・林業写真
コンクール入選
受賞者 佐藤浩之さん(須賀川市)
撮影場所: 須賀川市

はなしの ひろば

ふるさとの山に向かいて

散歩途中に、一人の婦人に道を尋ねられた。右手にしつかりと握りしめていた地図を示し「この旅館に行きたいのですが」と。私も帰り道であり「ご一緒します」と言うと、丁寧に頭を下げられた。ちょうど夕刻であり、私達は、大きな夕焼けに向かって歩き始めた。土手の少し軽くなった芒の穂が、逆光を浴びてきらめいている。風ともつれあいながら風の形に遊んでいる。そのきらめく色は、もうすでに深まりいく秋の色だ。

「どちらからですか」と尋ねると「岩手の平泉です。四〇年前にこの町を出て平泉に移りました。今日は、会津若松に旅行でしたが、故郷の秋祭りも懐かしくて足をのばしました。もうこの町には、一人の身内もおりませんが、この山々が本当に懐かしくて涙がでます」と目頭をおさえていた。婦人の内には、四〇年前の故郷の風景やご自身の姿が一気に蘇ってきたのだらう。まだ十分に紅葉とは言えない故郷の山々は、それでも優しく「おかえり」と言っているようだった。私にとっては見慣れた山々だったが、婦人と歩を進めていくうちに、石川啄木の「ふるさとの山に向かいて言うことなし／ふるさとの山はありがたきかな」の短歌が思いだされる。故郷を懐かしむ思いは、誰もがとても深く、とても優しい。

この婦人とは、旅館の前で別れたが、勇壮な秋祭りの太鼓を聞きながら、旅の宿でひとり、婦人は何を思っていたのだろうか。
さまざま「郷愁」が、一番似合う季節になってきた。

(都)

編集

福島県内四森林管理署

福島県森林・林業・緑化協会

福島県森林組合連合会

福島県木材協同組合連合会

福島県農林種苗農業協同組合

ふくしま緑の森づくり公社

森林研究整備機構福島水源林整備事務所

福島県森林・林業・緑化協会

(福島市中町五番一八号県林業会館内)

発行人

発行

水戸

陽光社印刷株式会社

(定価 一〇八円)

お知らせコーナー

「第42回福島県林業祭を開催します」

福島県林業祭とは、県民の皆さまに森林・林業・木材産業の魅力等を感じていただくことを目的として、例年秋に開催しているイベントです。

今年度は次のとおり実施しますので、ぜひ皆さま福島県林業研究センターへお越しください。

- 日時
10月21日(土) 10:00~16:00 10月22日(日) 9:30~15:30
- 場所
福島県林業研究センター (福島県郡山市安積町成田字西島坂1)
- 入場料
無料
- 主なイベント
木工・竹細工体験、模擬上棟式(餅まき)、林業担い手の主張(22日)、福島県きのこまつり(きのこ品評会、品評会出品物販売)、スタンプラリー、その他飲食、農林水産物販売、復興PRコーナー等ブース多数
- その他
(1) 開会式(21日10:00~)に参加いただいた方先着で『福島県産なめたけの大瓶』プレゼント
(2) 22日(日)来場者先着でいわきゴールドしいたけの『菌床』プレゼント
- ホームページ

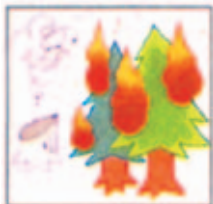


大人気の木工工作コーナー (H28)

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36055c/h29ringyousai-00.html>

備えのパートナー 森林保険

こんな災害からあなたの山を守ります。



1 火災

山火事で受けた損害



2 風害

暴風による根返り、幹折れなどの損害



3 水害

豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害



4 雪害

大量の積雪による幹折れ、根返りなどの損害



5 干害

乾燥による枯死などの損害



6 凍害

凍結、寒風などによる枯死などの損害



7 潮害

潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害



8 噴火災

火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《保険の対象となる森林》

竹林や人手の全く入らない天然林を除き、面積が0.01ha以上であれば、樹種、林齢に加入制限はありません。

《ご相談・お申し込みは》

◆福島県森林組合連合会
TEL024-523-0255(代)

または最寄りの森林組合

イワフジのタワーヤーダ
TY-U5C タワーヤーダ

IWAFUJI
INDUSTRIAL CO., LTD.

橋梁型エンドレスタイラー方式に対応した
5脚式タワーヤーダ
上行荷・下行荷ともに橋梁型集材が可能



For the future with forest

イワフジ工業株式会社 北関東支店

www.iwafuji.co.jp

(北関東支店) 福島県郡山市八山田5-314
TEL 024-973-5168 FAX 024-973-5168

(本社・工場) 岩手県奥州市水沢区桜屋敷西5-1
TEL 0197-23-3111 FAX 0197-25-3177

(支店) 札幌・東北・北関東・関東・中部・関西・九州



自然との調和

(私達は、地球的視野に立ち、つねに進取の精神をもって、時代に挑戦します。)
皆様のご要望にお応えする、環境との調和を図る製品やタイムリーな情報を提供し、全国から厚い信頼をいただいております。

<p>野生獣類から大切な植栽木を守る</p> <p>ヤシマレント</p> <hr/> <p>ヤマビル対策に</p> <p>マリックスター(駆除剤)</p>	<p>蜂さされ防止</p> <p>ハチノックL(巣退治) ハチノックS(携帯用)</p> <hr/> <p>タケを駆除する</p> <p>クロレートS</p>	<p>大切な日本の松を守る 住化グリーン®の林業薬剤</p> <p>ヤシマスミバイン乳剤 ヤシマスミバインMC グリーンガードNEO パークサイドF ヤシマNCS モリエートマイクロカプセル マツグリーン液剤2 マッケンジー</p>	<p>くん蒸用生分解性シート</p> <p>与作シート(茶・白) (折りたたみ式 専用キャリーバック使用)</p> <hr/> <p>竹・ササの防除に</p> <p>クロレートS粒剤</p> <hr/> <p>アメシロなどの害虫防除殺虫剤</p> <p>打ち込み上手</p>
---	---	---	--



住化グリーン株式会社

本社 〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町1番8号 TEL.03-6837-9422 FAX.03-6837-9423

効率良く快適に! 手持ち作業から大型作業まで充実のラインナップ。

機器はゼノアから

<p>チッパシュレッダ</p>  <p>竹もOK! SR3100 出力 18.4kW (質量1,330kg) 水冷ディーゼル 967634301 ¥3,580,000(税抜)</p>	<p>ハンマナイフモア</p>  <p>ZHM1550 出力 27.5kW (質量1600kg) 967081901 ¥5,860,000(税抜)</p>	 <p>ZHM800 出力 7.4kW (質量230kg) 967088901 ¥748,000(税抜)</p>
---	---	--

ハスクバーナー・ゼノア(株)福島県代理店
(有)うねめ林業機械

TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚108の1